

### Ⅲ 教育課程

#### 1 東京都立港特別支援学校の教育

##### (1) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・特別支援学校として、家庭・地域との連携を図りながら個別の教育支援計画を策定し、地域に密着した特別支援教育の推進を図る。
- ・高校生としての自覚と自己理解を深めると共に、集団生活を通して協調性や人への思いやりの気持ちを育て、卒業後の社会生活を主体的に切り開いていく力の形成を図る。
- ・生徒一人一人の個性を伸ばすと共に、年齢に応じた考え方や態度などの社会性を育てる。
- ・個別指導計画を作成し、学習内容に応じた指導グループを編成して指導にあたる。
- ・職業教育の充実、進路指導の充実を図るため、学校全体でキャリア教育を推進する。
- ・人権尊重の精神や社会に貢献する精神をはぐくむため、社会体験や奉仕活動、交流活動及び共同学習を推進する。

##### (2) 進路指導について（キャリア教育）

###### ア 指導方針

教科「職業」「職業における専門教科」及び「作業学習」だけではなく、全ての教育活動が進路指導につながるものと考え、社会人として生活を支える基礎的な力を身に付けることを意識したキャリア教育を実践している。

###### イ 各学年の主なねらいと取組

	主 な ね ら い	主 な 取 組
一 年 生	<b>【普通科】</b> ・ 基本的な生活習慣の確立 ・ 個人の課題を明確化 ・ 卒業後に向けての意識づくり	職場見学
	<b>【職能開発科】</b> ・ 基本的な生活習慣の確立と安定 ・ 社会体験を通じた課題の明確化 ・ 自立と社会参加に向けた意識づくり	就業体験 現場実習
二 年 生	<b>【普通科】</b> ・ 現場実習を通じて社会体験をし、視野を広げる。 ・ 自己課題の克服	一日職場体験 現場実習 通勤寮・グループホーム見学会
	<b>【職能開発科】</b> ・ 基本的な生活習慣の安定。 ・ 自立に向けた課題の改善。 ・ 社会資源の理解とその活用方法を知る。	
三 年 生	<b>【普通科】</b> ・ 現場実習を通じて卒業後の進路を決定する。 ・ 社会人になるための意識づくり	ハローワーク訪問 福祉事務所訪問 第Ⅰ・Ⅱ期現場実習
	<b>【職能開発科】</b> ① 基本的な生活習慣の安定 ② 自立と社会参加に向けた進路決定 ③ 社会人になるための意識づくり	

##### (3) 授業について

###### ア 日常生活の指導(普通科)

- ・ 基本的な生活習慣を身に付ける。
  - ・ 一人一人の課題に適した学習を行う。
- <衣服の着脱、身辺処理/教室清掃/日課帳の記入、係活動など>

イ 特別活動（ホームルーム）

- ・クラスの一員として自分の役割や責任を認識し、友達と協調して行動する力を育てる。
- ・個性を理解、尊重し、互いの存在を認めあう集団づくりをする。

ウ 職業

（1 グループ）

- ・一人一人の発達段階に応じて、社会生活能力を高める。

（2 グループ）

- ・進路の学習を通して、社会性を身に付ける。

（3、4 グループ）（職能開発科）

- ・進路について、主体的に考え、自分の将来を切り開く意欲をもつ。

エ 生活単元学習（普通科）

- ・学級学年集団を基礎とし、生徒の興味・関心のあることをテーマにして年間を通じ活動する。
- ・活動を通して学んだことを個々の生活に生かしていく。（学年、学級）  
＜体育祭／ギャラリーみなど／宿泊行事（1、2年）／調理／校外学習等＞
- ・大きな集団での活動の中で、生徒一人一人が主体的に参加する力を育て、学校行事を作り上げることを経験する。（全校）＜体育祭・ギャラリーみなど事前・事後学習等＞

オ 国語、数学

（1 グループ）

- ・話を聞く、自分のしたいことを伝える。
- ・色や形、大小を見分ける。
- ＜ことばの学習（話す、聞く）／形、大きさの学習＞

（2 グループ）

- ・生活の中で活用できる基礎的な国語・数学の力を身に付ける。
- ・興味・関心を広げ、表現する力を付ける。
- ＜ことばの学習（話す、書く、聞く）／数の学習など＞

（3、4 グループ）（職能開発科）

- ・感性を養い、視野を広げるとともに、言葉を適切に活用する力を付け、社会生活に生かす。
- ・数量等に関する実践力を身に付け、生活に役立てる。
- ・行事に関して調べ学習などを行い、知識を豊かにする。
- ＜国語・数学の基礎学習／行事の事前・事後学習等＞

カ 音楽

- ・歌唱や楽器演奏を通じて楽しさを感じ、豊かな表現力を身に付ける。
- ・様々な音楽に親しみ、鑑賞力を高める。
- ・周囲の人々と一緒に、音楽を楽しむ態度を身に付ける。
- ＜歌唱／器楽／鑑賞／身体表現＞

キ 美術

- ・造形活動を楽しみ、創造する力を養う。
- ・物を見る力、感じる力を育て、豊かな情操を養う。
- ・様々な素材に触れ、主体的に制作する心を育てる。
- ＜絵画（水彩、アクリル、コラージュなど）／立体（紙粘土、オブジェなど）／デザイン（平面構成、木工等）鑑賞（スライド、ビデオ）＞

ク 保健体育

- ・体を動かす楽しさを知り、進んで取り組む意欲を育てる。
- ・生徒個々の課題に応じた運動技能を獲得・向上する。
- ・健康・生命について学習し、「生きている」ことの大切さを考える。
- ＜持久走／マット、跳び箱／水泳／球技／陸上競技等＞

ケ 家庭

- ・家庭生活に必要な基礎的な知識や技術を習得し、実生活に生かせる能力と態度を育てる。
- ・調理の基礎的な知識や技術を習得し、実生活で生かす。
- ・調理の楽しさを知り、自分から取り組もうとする態度を育てる。
- ・身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考える力を養う。
- ＜衣（修繕・洗濯）／住（ごみの分別・電気・道具の扱い）＞
- ＜調理（ご飯・みそ汁・おかず・麺類・お弁当）／栄養／家庭生活／消費生活・環境＞

- コ 作業学習（普通科）
- ・作業学習を通して、働く意味を考え、働く姿勢を身に付ける。
  - ・集団の中で、継続して仕事に取り組む力や姿勢を育てる。
- ＜1 年＞普通科普通学級  
 オフィスワーク、フードサービス、クリーンサービス1、ランドリーサービス、ハンドワーク、ランドリーサービス、生産園芸サービス、リサイクルワーク
- ＜2, 3年＞普通科普通学級職業類型  
 オフィスワーク2、フードサービス2、クリーンサービス2
- ＜2, 3年＞普通科重度・重複学級、普通科普通学級総合類型＞  
 オフィスワーク1、フードサービス1、クリーンサービス、ランドリーサービス、ハンドワーク、ランドリーサービス、生産園芸サービス、リサイクルワーク
- サ 総合的な探究の時間（チャレンジタイム）（奉仕・美化活動）（普通科）
- ・自ら学び、考え、主体的に生活を切り開いていく資質や能力を育てる。
  - ・学びたいことへの興味・関心を引き出すとともに、生涯学習の基礎を培う。
- ＜スポーツ・絵画・音楽などの複数コース＞
- シ 生徒会活動
- ・自分たちの学校生活を充実させるために自主的に活動する力を付ける。
  - ・生徒全体の代表という視点に立ち、創造的な思考力を養う。
  - ・学級・学年さらには学科を越えた仲間作りをする。
- ＜新入生歓迎会／生徒会役員選挙／3年生お別れ会企画・実行／環境美化活動／など＞
- ス 社 会（普通科普通学級職業類型）（職能開発科）
- ・社会や国に決まりがあることを知る。
  - ・社会の様子、働き移り変わりについての関心と理解を深める。
  - ・日本の地理的事象に対し、関心をもち知る。
  - ・生活に関心の深い公共施設や公共物の働きを知る。
- ＜身近な地域の地理、身近な地域の調査、公共施設や公共交通機関を知る、国や社会の仕組み、東京都の区市町村、文化、歴史を知る、ニュース発表＞
- セ 理 科（普通科普通学級職業類型）（職能開発科）
- ・身近な自然にふれるとともに、日常生活との関係を知る。
  - ・身近なものを使った実験や観察を通して、興味・関心を広げる。
- ＜植物について、健康なくらし、天候、酸性とアルカリ性、動力のしくみ、沖縄の植物、沖縄の動物、四季の星座＞
- ソ 外 国 語（英 語）（普通科普通学級職業類型）（職能開発科）
- ・簡単な挨拶を英語で発音し、海外の人とコミュニケーションを図ることができる。
  - ・身近なものを英語で発音できる。
- ＜簡単な挨拶、数に関する表現、食物に関する表現、スポーツに関する表現、動物、乗り物に関する表現、色に関する表現＞
- タ 情 報（普通科普通学級職業類型）（職能開発科）
- ・さまざまな情報を得て、それを処理・活用する能力と態度を育てる。
  - ・コンピューターに慣れ親しみ、活用する能力をつける。
- ＜パソコンの基本操作を知る、wordの使い方を知る、必要な情報を検索し読み取る、エクセルの使い方を知る＞
- チ 職業に関する専門教科（職能開発科）
- ・生徒全員の企業就労を目指して、社会生活や職業生活に必要な一般的な知識・技能及び態度の育成を図るために、「家政」及び「流通・サービス」を指導する。
  - ・「家政」では、実習を通じて必要な知識・技能の習得を図るとともに実際に活用できるようにする。
  - ・「流通・サービス」では流通・サービス産業に関連する仕事に関係が深い知識・技能の習得を図る。
  - ・「事務・情報処理」「清掃」は、3年間を通して継続的に実施し、就労に必要な基礎的知識・技能の習得を図る。
- ツ キャリアガイダンスの時間（職能開発科）
- ・外部人材などを活用し、校内において模擬的に職場体験などを行うことを通して自分の仕事や立場に対する理解を促し、就労現場における円滑な人間関係を構築するために必要な能力や態度を育てる。